

患者の健康、 医療の安全と質の向上を 目指した国際的な医療連携の提案

日本国内の紹介

- 日本におけるがん
- がん治療：集学的、長期的になってきている
- 日本国内の医療連携

外国から日本への医療渡航

- 現状と問題点
- 提案

日本国内の紹介

- 日本におけるがん
- がん治療：集学的、長期的になってきている
- 日本国内の医療連携

外国から日本への医療渡航

- 現状と問題点
- 提案

2 人に 1 人

一生の間でがんに罹患する確率
男性 65.5%、女性 51.2%

がんで死亡する確率
男性 26.2%、女性 17.7%

4 人に 1 人

60%以上

がんによる5年生存率
男性 62.0%、女性 66.9%

乳がん

手術

放射線治療

内分泌治療
5～10年

再発の場合、化学療法

胃がん

手術

術後補助化学療法
6ヶ月～1年

再発の場合、化学療法

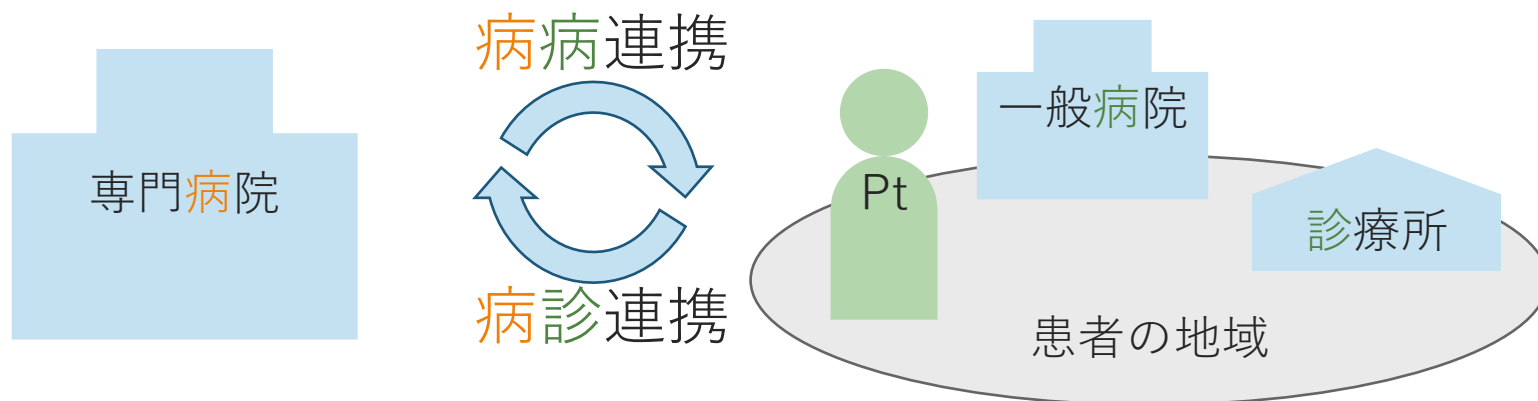
日本のがん診療の問題

がん患者が多い

治療は長期化してきている

専門病院だけで対応すると患者が集中し、限界がある

→ 専門病院と地域が連携して、がん診療を分担する



確定診断、治療

治療：手術、放射線、化学療法など

検査：CT、PETなど

検診、発見、治療

治療：ホルモン療法など

検査：血液検査など

東京都医療連携手帳



合計 6 つのがんについて作成



肺



胃



肝



大腸



乳



前立腺

東京都医療連携手帳



専門病院（以下、「治療病院」）に連携しながら専門的に診察することによって、切れ目のない医療を実現します。患者さんは治療病院とかかりつけ医とが連携することで、安心して診療を受けることができます。



投薬はかかりつけ医が行います。何か心配なことがあ

- 他の医療機関を受診する場合でも、お薬手帳と一緒にこの連携手帳をお持ちください。
- この連携手帳の診療計画は、診察・検査を行う時期の目安ですので、病状に応じてかかりつけ医・治療病院主治医の判断に従うようにしてください。

患者を中心とした医療機関の連携モデルを示す手帳を作成

連携手帳を用いた診療の流れ

専門病院

【かかりつけ医】

かかりつけ医

患者

お薬手帳

地域の医療機関

薬局

連携手帳とお薬手帳を持っていれば安心です

※この「東京都医療連携手帳」は、東京都がん診療連携協議会で作成しています。

治療開始前
(TNM/stage)

閉経状況	(前・後・不明)
病期	T N M Stage
手術日	20 年 月 日
手術時年齢	歳
手術術式	乳房 <input type="checkbox"/> 乳房部分切除 <input type="checkbox"/> 乳房切除 <input type="checkbox"/> SSM <input type="checkbox"/> NSM 腋窩 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> センチネルリンパ節生検 <input type="checkbox"/> 腋窩リンパ節郭清 再建 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> TE <input type="checkbox"/> SBI <input type="checkbox"/> 自己組織(LD/DIEP/その他)
病理	pT _____ cm pN _____ / _____ ER (+ ・ -) PgR (+ ・ -) HER2 IHC (0 ・ 1 + ・ 2 + ・ 3 +) FISH / CISH (陰性 ・ 陽性) NG (1 ・ 2 ・ 3) HG (1 ・ 2 ・ 3) Ki67 _____ % 断端 (陰性 ・ 近接 ・ 陽性) OncotypeDX RS: _____
備考	

手術記録/病理

放射線治療

部位	<input type="checkbox"/> 温存乳房 <input type="checkbox"/> 胸壁 <input type="checkbox"/> 領域リンパ節
総線量・回数	
期間	20 年 月 日 ~ 20 年 月 日
備考	

内分泌治療

	<input type="checkbox"/> タモキシフェン <input type="checkbox"/> トレミフェン
	<input type="checkbox"/> アナストロゾル
	<input type="checkbox"/> エキセメスタ
	<input type="checkbox"/> その他 ()
内容	
投与開始日	20 年
予定期間	
備考	

診療予定表

いつ
どこで (病院・診療所)
なに (検査・治療)

診療予定表

	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年 (治療病院または かかりつけ医にて)	1年3ヶ月	1年6ヶ月	1年9ヶ月	2年 (治療病院または かかりつけ医にて)
受診年月日	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /
診察	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
乳房US/MG				<input checked="" type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>
・MG				<input checked="" type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>
・US		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
採血		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
骨密度 (AI内服中のみ)				<input checked="" type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>
内服確認 (ホルモン剤)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
LH-RH注射施行日	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /
	<input type="checkbox"/> 治療病院 <input type="checkbox"/> かかりつけ医 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 治療病院 <input type="checkbox"/> かかりつけ医 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 治療病院 <input type="checkbox"/> かかりつけ医 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 治療病院 <input type="checkbox"/> かかりつけ医 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 治療病院 <input type="checkbox"/> かかりつけ医 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 治療病院 <input type="checkbox"/> かかりつけ医 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 治療病院 <input type="checkbox"/> かかりつけ医 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 治療病院 <input type="checkbox"/> かかりつけ医 <input type="checkbox"/> その他
コメント (説明・指導)								
サイン								

日本国内の紹介

- 日本におけるがん
- がん治療：集学的、長期的になってきている
- 日本国内の医療連携

外国から日本への医療渡航

- 現状と問題点
- 提案

患者主導＝患者自らが診療情報を収集、提供
→診療情報が不十分、不正確な場合がある
入手が難しい情報がある



実際の事例

診療情報より実際の病状が悪い

→予定治療が行えない、安全な帰国ができない

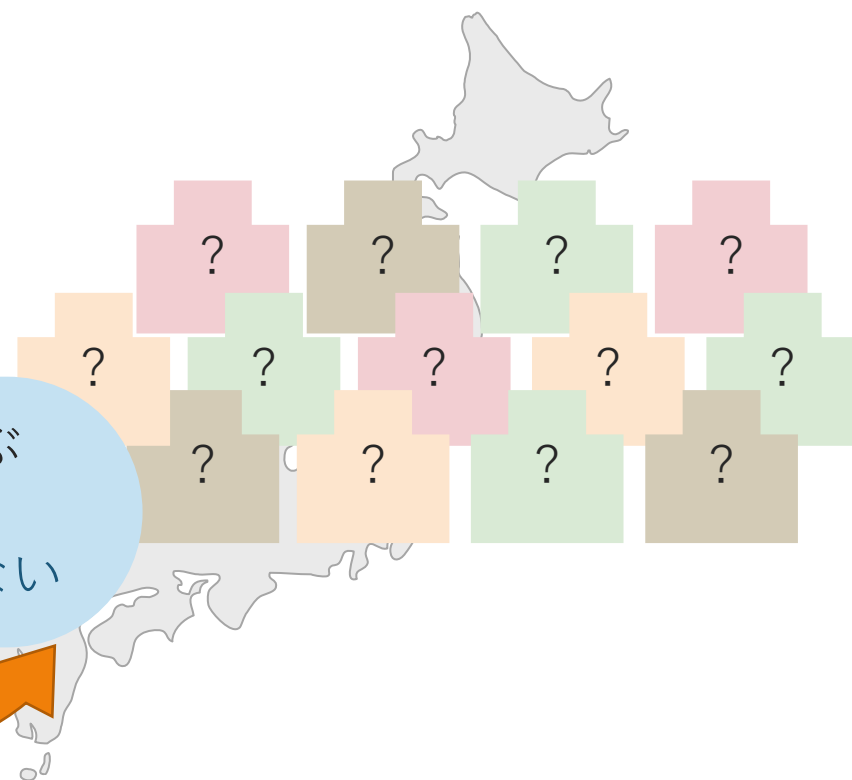
→最適な医療が提供できない、患者の安全が保たれない



一度で施行できる治療（手術・放射線）が多い
→長期的な治療計画が難しい
がん治療の質が保てない



インターネットに溢れる情報から病院を選ぶ
→正しい情報がわからない
自分にあった病院がわからない



実際の事例

エビデンスのない医療を提供する医療機関

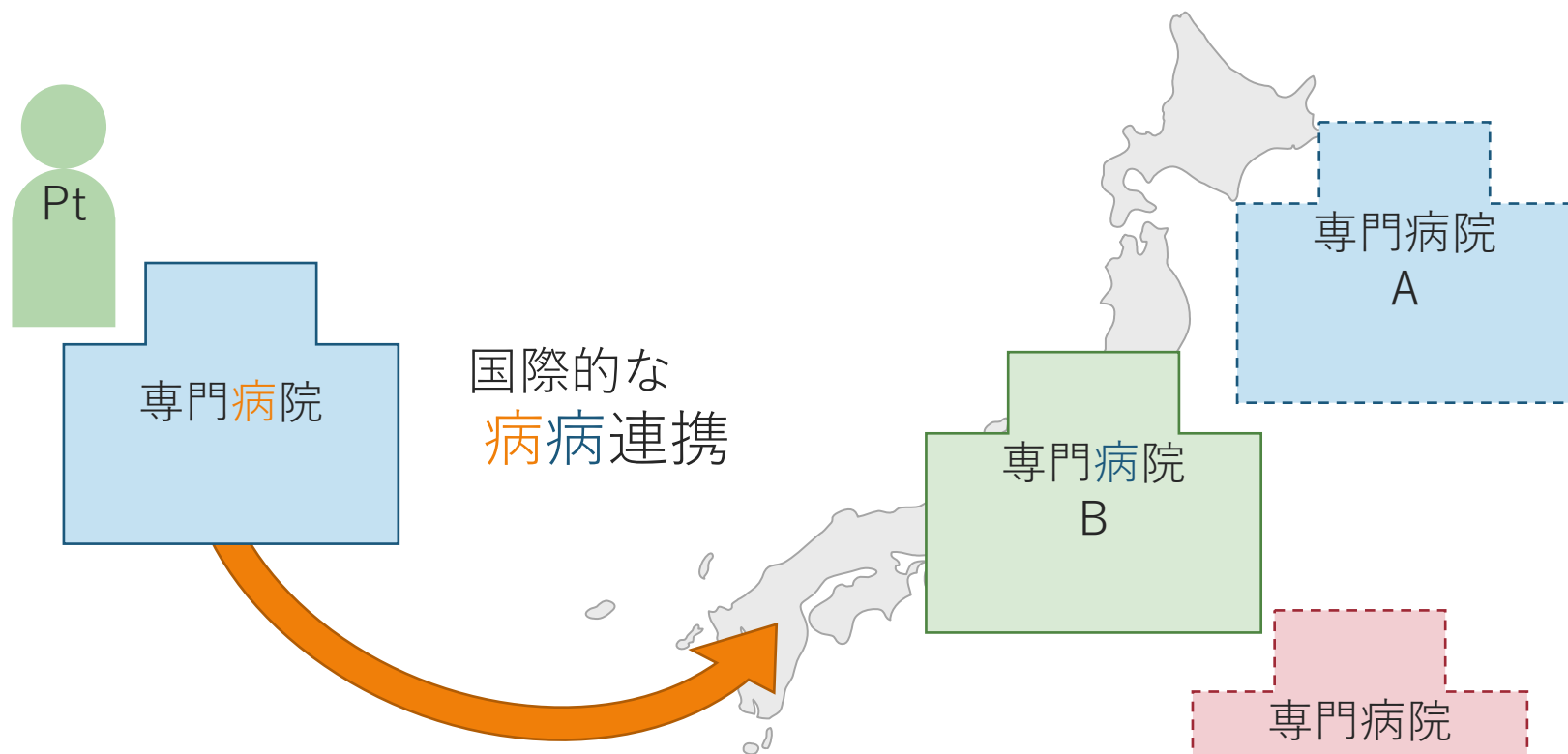
病状不良時に対応できない医療機関

→最適な医療を得られない、患者の安全が保たれない

問題点

- 患者主導では、適した病院の選定が難しい
- 診療情報の収集が不確実
- 集学的・長期的な治療計画を立てられない
- 患者の健康、医療の質を優先しない医療機関がある

→提案) 国際的な医療連携 + 国内の医療連携



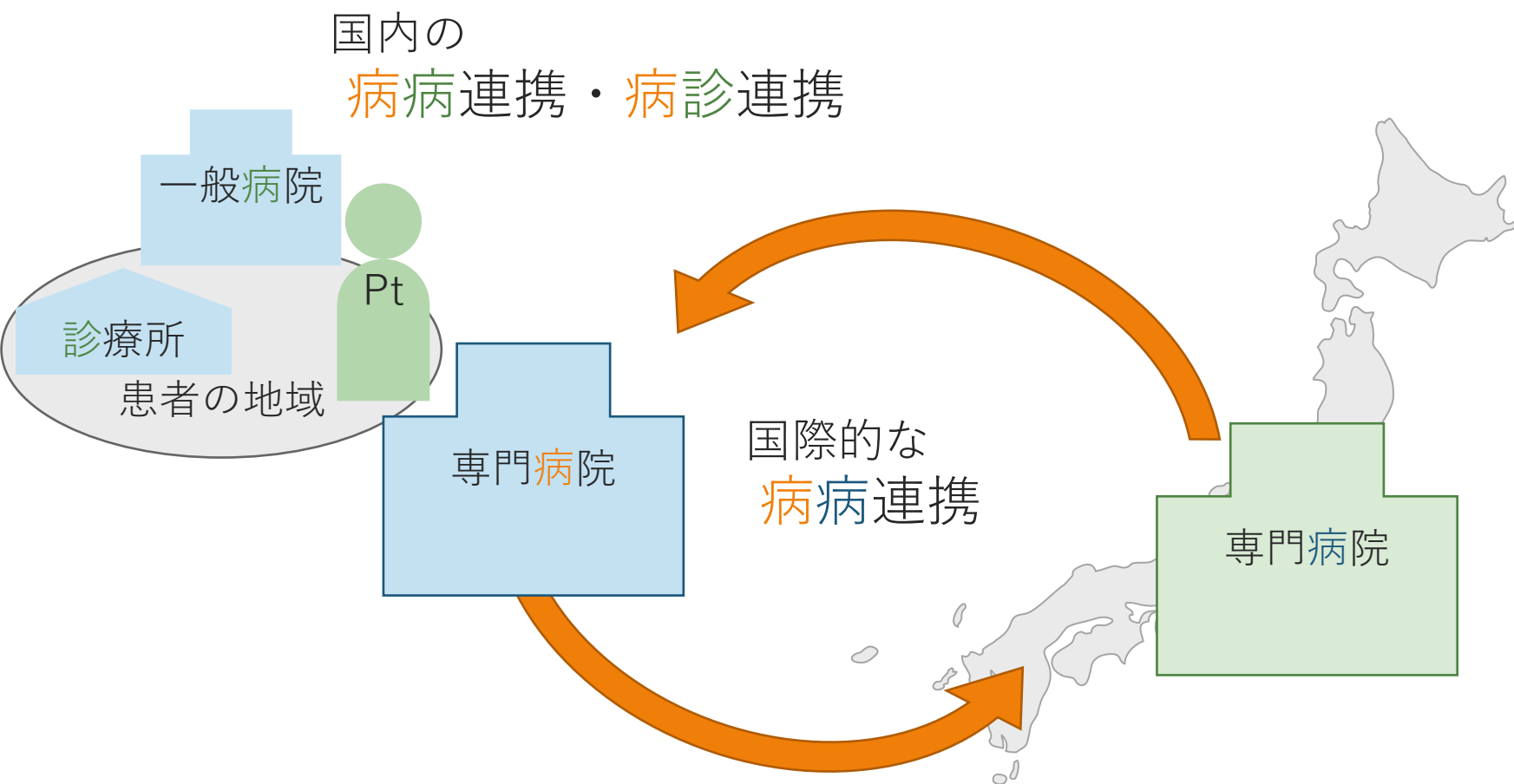
患者自国の専門病院と日本の専門病院が連携
患者は自国の専門病院を通じて日本へ医療渡航
→確かな情報から患者に適した病院を選定できる
的確な診療情報を共有できる

外国から日本への医療渡航：提案

日本で治療後、診療情報を患者自国の専門病院へ提供
→ 帰国後に的確な診療ができる
患者の利益を優先した継続的な医療が可能となる



患者自国の専門病院と日本の専門病院が連携
患者は自国の専門病院を通じて日本へ医療渡航
→ 確かな情報から患者に適した病院を選定できる
的確な診療情報を共有できる



患者自国内で「病病連携」「病診連携」を構築
→効率的な診療体制
患者の健康、医療の安全と質の維持が継続可能

インターネットをはじめとしたメディアにより患者は医療情報を入手しやすくなっている。また、新型コロナウイルス感染症で一時は停滞した国際的な人の往来も回復期が始まっており、医療渡航を目指す患者が増加する事が予測される。

いかなる医療機関も患者の健康、よい医療の質・安全を目指すことは、当然のことであるが、複雑化する医療、特にがん診療においては、一つの医療機関の役割は限られている。そのため、効率的な医療連携が有用となる。

医療渡航においては、患者主導型では最適な医療提供及び安全な医療提供がむずかしい。今回提案する国内および国際的な医療連携によって患者の利益を最大化し、不利益を最小とすることが可能になると考える。